

「お兄さん、お姉さん仲良くしてください」

南陽小学校で一人の入学式

4月9日、市内のほとんどの小・中学校で入学式が行われるなか、上対馬町一重の南陽小学校（古賀昭光校長）では、一人の新入生を迎える入学式が行われました。

ピカピカのランドセルを背負い両親に連れられて初登校した春田大輝くんは、入学式で校長先生から「新入生が一人で寂しいと思っているでしょうが、楽しいことがいっぱいありますから、わくわくした気持ちで学校に来て下さい」と言葉をかけられ、25名の在校生たちからは手話を使っての合唱や早口言葉などの出し物で歓迎を受けました。

大勢の人に囲まれて少し緊張していた様子の大輝くんでしたが、温かい歓迎に応じて「はやくお勉強したり遊んだりしたいです。お兄さんお姉さん、仲良くしてください。」と元よく挨拶しました。

今年、市内の小学校には409名の新一年生が入学しました。

小学生になりうれしそうな

春田大輝くんご両親



歓迎する子どもたち



隠れた対馬の名所を巡る

対馬 HOT SPOT

日露海戦遺構地 Part 1

対馬で一番長い天然砂浜である茂木浜。今月はこの茂木浜にまつわるエピソードをお届けします。1905年（明治38年）5月27日と28日の両日、この茂木浜沖で日本海海戦が繰り広げられ、東郷平八郎司令長官率いる連合艦隊が、当時最強といわれたロシアのバルチック艦隊に大勝しました。その艦隊の中の戦艦ナヒモフ号は茂木浜沖に沈没し、救命ボートで99名のロシア兵が茂木浜に上陸しました。住民は敵国襲来と考え鎌や斧などを手にとり茂木浜に集まりました。しかし、戦火を逃れ漂着し



茂木浜 上対馬町琴

たロシア兵と分かり、温かくもてなしたと伝えられています。

茂木浜で目を奪われるのは、景色とはミスマッチとも思える大砲ナヒモフ号に残る金塊積載説の調査で、1980年（昭和55年）に引き上げられた口径20cmの艦載砲です。残念なことに金塊は無かつたようですが、海底に眠る戦艦の夢物語と考えてみてはいかがでしょう。か。「真実は戦艦ナヒモフ号のみぞ知る」です。

島内には、いたるところにロシアと関係が深い場所が残っています。Part 2では他の場所を紹介いたします。

また、市ではみなさんからの情報をお待ちしております。

対馬市役所観光交流課
メールアドレス

asightseeing@city-tsushima.jp
0920(53)6111

